

も、今後、市民のほうに分かりやすい言葉で市長の進め方を伝えられるようなフレーズをぜひ早めに作っていただいて、これからの新糸魚川市の推進に頑張っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

この9月30日に縮充という観点で、職員の研修会を行います。今回、高校魅力化も含めた上でのこれからの在り方について、縮充という言葉の意味を含めて、職員がまず理解して、それならばこういうネーミングがいいんじゃないかという部分は、職員のうちから湧き上がってくるように、今後、仕向けていきたいなと思っております。いろいろありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

宮島議員、これで質問終わりますとか、一応、終結の宣言をお願いいたします。

○11番（宮島 宏君）

大変失礼いたしました。

これにて、私の一般質問を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、宮島議員の一般質問が終了いたしました。

昼食時限のため、13時20分まで暫時休憩いたします。

〈午後0時18分 休憩〉

〈午後1時20分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田原洋子議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。〔10番 田原洋子君登壇〕

○10番（田原洋子君）

こんにちは。田原洋子です。

通告書に基づき、1回目の質問をいたします。

1、災害関連死ゼロを目指す避難所運営について。

災害関連死とは、地震、津波、洪水などの自然災害において、建物の倒壊や火災などの直接的被害ではなく、避難途中や避難生活などにおいての精神的、肉体的負担が原因で亡くなることです。

過去の災害では、狭い避難所暮らしや車中泊で同じ姿勢を長時間続けることで、足の血管に血の塊（血栓）ができ、血栓が肺の血管に移動し、呼吸困難や激しい胸の痛みを起こすエコノミークラ

ス症候群の危険性と予防の重要性が取り沙汰されています。

２０２４年１月１日に発生した能登半島地震の避難行動の反省を生かし、避難所運営、避難所生活について、市民一人一人が理解を深めることが必要だと思われます。

自主防災組織、消防団だけではなく、近年では防災意識、知識、技能を生かして、啓発活動に当たり、大災害に備え、自助、共助、協働を原則として、防災力を高める活動を行う防災士の育成が進んでいます。

また、糸魚川市では２０２５年３月１６日に糸魚川市民会館において、各地区の自治会や自主防災組織の役員を対象に、火災対応の防災リーダーの研修が行われました。

さらに、地域で活動する際に必要な知識や技術等を身につけることで、災害時にリーダーシップを発揮できる防災リーダーは、避難所運営に必要な人材となることが期待されています。

しかし、防災士や防災リーダーが自分の地域にいるのか、誰が防災士、防災リーダーなのか不明のため、多方面と連携ができていないのではないのでしょうか。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 防災士と防災リーダーは、糸魚川市内に何人いて、指定緊急避難場所、指定避難所の各所に配置できる人数は足りていますか。
- (2) 避難所対応の防災リーダー研修会を行う計画はありますか。
- (3) 糸魚川市内の防災士、防災リーダー同士が連携するための交流会を開催する考えはありますか。
- (4) 防災士、防災リーダーをどう活用していきますか。
- (5) ジュニア防災リーダーとして、小学生、中学生、高校生向けに糸魚川市独自の研修制度を設けるつもりはありませんか。
- (6) ８月３０日に実施された糸魚川市総合防災訓練で見えてきた課題は何ですか。
- (7) ボトルに防災グッズを詰めてふだんから持ち歩いたり、学校、職場に置く方法があることを周知する計画はありますか。

２、糸魚川市の観光満足度向上について。

令和７年は８月９日からの三連休と、お盆休みと週末が続いたことで、糸魚川市には多くの観光客が訪れました。

百名山の雨飾山、白馬岳、海拔ゼロメートルから始まる拇海新道を朝日岳まで縦走するなど登山客も多く、ヒスイを探しに、えちご押上ひすい海岸を目指す方もいます。

また、マリンドリーム能生は、ベニズワイガニだけではなく、海洋高校出身の大の里関が横綱に昇進したこともあり、海洋高校のアンテナショップがあることから、注目度がさらに上がっています。

しかし、マリンドリーム能生に行くバス路線である仙納線と能生・労災病院線は、どちらも日曜・祝日、８月１５日、１６日、１２月２９日から１月３日の間は運休で、仙納線の一部の時間は土曜日でも運休のため、週末、お盆、年末年始に糸魚川駅まで鉄道で来られた観光客は、レンタカーを借りるか、能生駅か能生案内所から歩く以外に移動手段がなく、マリンドリーム能生に行くのが難しいのではないのでしょうか。

また、北陸新幹線に接続する大糸線の運行のない時間帯のＪＲ大糸線増便バスは、糸魚川駅を

11時55分に出発する2便は、金沢方向から到着する北陸新幹線と乗換え時間が8分しかなく、南口からバスが発車することに気づかず、新幹線を降り、改札を出て、大糸線の改札口に行っても券売機では行き先の白馬駅が見当たらず、窓口でも南小谷駅までしか購入できないため、戸惑っている間にバスに乗り遅れる事例が発生しています。

自由通路にはタッチパネル式の観光案内（A I さくら）がありますが、必要な情報にたどりつけず、困っている観光客を見かけます。

観光案内所では、対面で人が対応することで観光客の年齢や交通手段を加味して提案できるのが最大の利点ですが、ヒスイ王国館の案内所には「10月1日より日本海口観光案内所で行っていたバス業務はアルプス口観光案内所へ移転いたします。なお、日本海口観光案内所は糸魚川観光協会事務所となります。ご理解・ご協力をよろしくお願いします」の貼り紙があります。

北陸新幹線敦賀延伸、大阪・関西万博をきっかけに、関西方向からの観光客の誘致、インバウンド客に力を入れている糸魚川市の玄関口である糸魚川駅の対応が観光客の満足度に大きく影響するのではないのでしょうか。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) ヒスイ王国館2階にある観光案内所は閉鎖するのですか。誰が、いつ、どのように決定したのですか。
- (2) アバター接客A I さくらの維持費は幾らですか。
- (3) 糸魚川駅からマリンドリーム能生へ行く移動手段をどう解決しますか。
- (4) 土日限定販売の駅弁「キハめし」の需要はどうですか。
- (5) 糸魚川駅自由通路に観光案内所だったボックスが放置されていますが、繁忙期に活用する考えはありませんか。
- (6) 観光協会のホームページに駅周辺の飲食店マップを作成する考えはありませんか。
- (7) 観光案内所に多い問合せをA I さくら、ホームページに反映をさせていますか。
- (8) アプリで自転車の貸出し、返却ができる自転車シェアリングを導入する考えはありませんか。
- (9) 糸魚川駅自由通路のデジタルサイネージに観光スポットの位置関係が分かる地図を表示させる考えはありませんか。
- (10) ヒスイレディはどのような名称になり、何が変更されますか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

田原洋子議員の質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、防災士は73人とお聞きしており、県が6年、7年に認定した防災リーダーは計10人であります。

市で毎年実施している防災リーダー研修には、地区や自主防災組織で活動されている方々50人以上が参加しており、避難所の運営に携わっていただいております。

2 点目につきましては、市の研修において、昨年 1 1 月に避難所運営方法及び関係者の役割を再確認しております。

3 点目と 4 点目につきましては、地域だけでなく市の防災活動に参画いただけるよう、連携について検討してまいります。

5 点目につきましては、糸魚川白嶺高校では防災ジュニアリーダー育成合宿や防災フォーラムなどを通じて防災・減災に対する知見を深める取組を行っておりますが、他市の取組状況を参考に検討してまいります。

6 点目につきましては、天候等諸条件への対策が課題であります。

7 点目につきましては、非常持ち出し品などの備えの一つとして、啓発してまいります。

2 番目の 1 点目につきましては、7 年度の観光協会理事会で決定したものであり、日本海口観光案内所は 9 月末で閉鎖し、アルプス口観光案内所に統合されることになります。

2 点目につきましては、導入費用が 9 0 万円、月額使用料が 1 8 万円であります。

3 点目につきましては、道の駅は道路利用者の休憩施設であり、特に当市の道の駅は、鉄道利用者の来訪を考慮した立地にはなっておりません。

マリンドリーム能生への糸魚川駅からの誘客については、必要性は感じておりますが、費用対効果、交通事業者の人手不足などが課題と捉えております。

4 点目につきましては、収益性の課題から、本年 5 月に販売を終了しております。

5 点目につきましては、現在、案内所は休止しており、今後の活用方法については、観光協会と検討してまいります。

6 点目から 9 点目につきましては、観光協会とも共有し、費用対効果等を含めて導入を検討してまいります。

1 0 点目につきましては、名称や活動内容ともに、今年度中に検討することとしております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もございますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○1 0 番（田原洋子君）

まず、順番を入れ替えて、2 の糸魚川市の観光満足度について、再質問いたします。

かなり細かいところもありますが、これは実際に私が、8 月 9 日から 8 月 1 7 日まで 9 日間、朝 9 時半から夕方まで糸魚川駅にいて、聞いたり見たりしたことが基になっている質問です。これは、大切な市民や観光客からのご意見だと思って聞いていただければと思います。

私はですね、生まれ育った糸魚川が大好きで、せっかく糸魚川に来られた方が、糸魚川がいいところだった、また来たいと、糸魚川のファンになっていただきたいと考えています。ここにいる久保田市長をはじめ、職員、議員、傍聴されている皆さんも同じ気持ちだと思います。糸魚川に来られた方の不便とか不満というのを 1 つでも解消していくことが、リピーターになっていただくと考えております。

まず、解決できそうな課題からちょっと再質問いたします。

J R 大糸線増便バスの乗換え時間 8 分の課題についてです。

同じ糸魚川駅から出発する 4 便、6 便は、乗換え時間が二、三十分あるのに、なぜ朝の 2 便だけ 8 分と短いのでしょうか。11 時 55 分という中途半端な時間で、なぜ 12 時ぴったりに設定とかなできなかった理由はあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

今回の増便バス自体は、新幹線の大糸線の接続がないところにバスを走らせるということで行っております。当然、糸魚川から白馬へ行くのもそうですけども、白馬からこちらへ帰ってくる時間、それも新幹線に接続をしなければいけないといったことがございます。J R の乗換えの標準時間が 8 分という取決めがあって、J R さんの中では、8 分で乗換えができるというようなことでそういう設定をさせていただいてるんですけども、確かに切符の買替えの部分ですとか、そういったところの煩わしさという部分が、1 年やって見えてきておりますので、この辺りについては、冬ダイヤも含めた中で、何とか改善できないかということは申入れをしておりますし、あと、駅の切符を買う周りですかね。その案内の仕方、これについてももう一度、J R さん等を含めて、現地で確認をしながら表示を変えていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10 番（田原洋子君）

新幹線駅ホームに降りて、エレベーターなりで下に降りて、改札を出て、えちごトキめき鉄道の改札行って、切符を買って、順番を待ったりとかしてる間に新幹線のほうで切符を買ってくださいってお願いされたときに、まず、そもそも切符売場が 2 台しかなくて、1 台はオペレーターにつながぐためにずっと順番待ちって状態なんですよ。これが、絶対 8 分では足りないのだなというのを私は実感しています。その点も含めて、ちょっと J R 側にも、この乗換え時間とか、バスなので行ったり来たりの時間もあると思うんですが、改善していただければと思います。

新幹線を降りたらですよ、改札出て正面に矢印が貼ってあるんですが、増便バスはこちらというふうに、やはり目に入らない方が多いみたいです。

ちなみにですね、これ、えちごトキめき鉄道の改札の隣、アルプス口南口からの乗車ですって書いてあります。この案内自体は、どなたが作ったかご存じですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

すいません。どこのガラスか写真ではちょっと分からなかったものであれなんですけど、いずれにしても J R さんのほうで貼っているものか、あとはジオパルのほうで、そういうお問合せのお客様

がいらっしゃるということで貼ったものか、いずれかなというふうに思うんですが、ちょっと場所がよく分からないので承知はしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

すいません、写真が小さくて分かりにくいんですが、これ、えちごトキめき鉄道の改札口の枠にある時刻表なんです。その上に、この南口ですって案内貼られたのは、えちごトキめき鉄道の社員の方です。つまりですよ、えちごトキめき鉄道の窓口にそれだけ困られてる方がいるという現状を知っていただきたいと思って写真を撮ってきました。もしですよ、この8分で間に合わないのであれば、その2便の時間だけでも南口はこちらですとか、増便バスはこちらですという案内を持った方がいるのが、私、糸魚川駅のおもてなしじゃないかと思うんです。そういったことも含めて検討していただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

今ほどのようなご意見を踏まえた中で、事業者のほうにはお伝えしてありますし、冬ダイヤの部分も今検討しているところなんですけども、その部分では、時間の部分は調整を加味していきたいというふうに考えております。

ご案内という部分に関しては、あそこで困られてる、券売機の前で困られているお客様については、駅の中のほうから出てきて対応している部分も私見たことがございますし、もっと事業者のほうでも、そういったところの案内をしっかりとるように伝えたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では、次の課題に行きたいと思います。

マリンドリーム能生に行く交通手段に関しては、基本的に道の駅は車利用者であって、糸魚川のマリンドリームの場合は、車で行くこと前提なので、駅からのアクセスがということなんですけど、観光課として、この状態を放置しておいてもいい問題なんではないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

市長答弁のように、道の駅でありますので、ターゲットはやはり自動車を利用される方だと思います。当市だけではなく、地方は二次交通が不便ということで大きな課題ではあるというふうに考

えております。公共交通で難しいところについては、レンタカーまたは、今後はライドシェアやオンデマンド等の仕組みづくりが必要であるというふうに思います。能生町観光物産センターも当然、状況は承知しておりますし、ただ実際には、手は打っていない状況であります。手を打つ、そこまですて糸魚川駅に自分たちから動くという優先度が低いという判断であるかというふうには思っておりますが、いずれにしても実際には不便な状況、糸魚川駅ご利用の方が不便な状況であるということは認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

糸魚川に来られる方の目的が、おいしい海鮮、やっぱりカニということが一番多くなってます。やはりマリンドリームというのは、もう海というイメージがあるので、皆さんお魚を食べたいとか海鮮丼を食べたいって方は、マリンドリームに行けばいいんだなということが頭にはあるんだけど、距離がそんなに遠かったってことが分からないまま来られている、現地に来てるんですね。観光案内所とかで、じゃあ、もう二次交通ございまして答えている側の気持ちって、どうなのかなって私は思っていて、ぜひマリンドリーム側と糸魚川市観光協会、いろんなところが協力して、本当に、例えばさっき言ったシェア自転車を導入するとか、何か検討していただきたいと思ってるんですよ。今の自転車というのは、有人のところで鍵を借りますとかいってやらないと、鍵借りられないんですよ。だけど能生駅に、例えばアプリで借りられる自転車があれば、スマートフォンでピッとやって、支払いも予約もできますとかいうふうになれば、行ける人が増えるんじゃないかと思うので、ぜひとも社会実験でも何でもいいので、やっていただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

能生駅からにつきましては、マリンドリーム自体もこの秋、来月に電動キックボードの実証実験を行うということでお聞きしておりますし、何かしらの手だてがあれば、やはり一番最寄りの鉄道の駅ということになりますので便利かと思います。

ご指摘の自転車のシェアリング、シェアサイクルにつきまして少し調べましたら、国土交通省のデータでは、やはり6割が赤字ということで、なかなか収益性に問題があります。実際にどれぐらい費用がかかるかというものも調べてみたんですけども、ほかの市の例で、1台、自転車も含めて年間48万円ぐらい、アプリ利用も含めてかかるということになります。そうしますと、当市で置き換えた場合に年間、観光協会のレンタサイクルだと870回ぐらい年間利用あるんですけども、1日1,500円でお貸ししたとしても130万ぐらいの売上げになります。それで1台48万円程度かかっているようであれば、やはり採算性はないものというふうに捉えざるを得ませんが、ご指摘の不便な部分については、何らかの手だてを、アイデアを出して解決できるように進めてまいりたいと考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

それでは、糸魚川駅周辺の飲食店が足りないとかいう問題です。

キハめしはですね、収益性の問題で終了しているということなんですが、キハめしを以前に買われた方が検索すると、キハめしの材料高騰のため、販売価格が上がりますってページしか出てきません。終了してるんだったら、好評だったんですけど終了しましたってご案内なり、そもそもキハめしの案内を削除しないと紛らわしいと思うんですね。あれがいつまでもあることで、キハめしっていつ売ってるのって思いませんか。その辺、どのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

アナウンス、キハめしのアナウンスについては、ご指摘のとおりかと思います。紛らわしいところがありましたら、改めて掲載の方法を考えたいと思います。

人気があったかというところについては、ちょっと微妙な個数かなと思いますし、せめて予約制で販売してみればどうだったかなというふうにはちょっと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

キハめしは、掛け紙がキハってという鉄道ファンの心を揺さぶるところもあったんですが、やはり食事がすごく混んでいるときに、お弁当として買える。あと、やっぱり鉄道ファンの方とかは、駅弁が買いたいという、需要にはすごく応えてたんじゃないかと思います。その販売の仕方とかPRの仕方によっては、今回は収益性が合わなかったってことなんですが、まだまだ伸び代があるのかなと私は考えています。

では、次、AIさくらさんについてお聞きします。

月額で18万であれば、1人雇ったほうが、私はAIよりも生身の人間のほうが役に立つと思うんですけど、その辺はどのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

AIさくらについては24時間365日で4か国語対応ということで、ご指摘のように人一人と、実際にその方に合ったオーダーメイドの案内をするかという部分ではすごく機械的なのかというふうに思っておりますが、もともと導入の背景には人手不足がございまして、改札前のボックスを廃止した際に、AIで接客できる本機能を導入したというふうにお聞きしております。DXの流れで、大変、私的には面白い取組であるというふうに評価しておりますし、新潟県の未来図鑑withデ

デジタルというICT推進課さんのページで、観光案内所の救世主だということでご紹介していただいておりますので、実際に対応している人数については、日本海口の観光案内所とほぼ同じ相手をさばいていただいていると思っております。まだまだ伸び代があるなと思いますので、もう少しアップデートできるように取組を進めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

私、AIさくらさんに音声で何回か質問してみたことがあります。それっていうのは、糸魚川市の観光協会のホームページ見ても、どこを検索しても出てこない多分情報なんだけど、すごく質問の多い内容です。

ちなみにですね、ヒスイ拾いに押上海岸に行きたいんですけど、どうやったら行けますかという、さくらさんの答えは、1駅です。ぜひ行ってみてくださいねって感じなんです。いやいや、その今電車ないですよって。じゃ、バスで行けますかって聞いたら、糸魚川駅からバスで行くこともできますが、興味深い情報があればもう少し詳しくお聞かせいただけませんか、調べてみますねで終わりました。いやいや、人であれば、このバス路線を見て、例えば鉄道で行けなければ、えちご押上ひすい海岸駅前か、もしくは南押上、押上1丁目で降りても近いよってことが分かります。だけど、AIさくらさん、そこまで学習していないんですよ。一番観光協会で聞かれる案内、今はヒスイ拾いです。その次にお昼です。一番得意なのがトイレですよ。ということは、まず、一番聞かれることをAIさくらさんに覚えてもらわなきゃいけないんですよ。この時間で押上海岸ヒスイ駅に行きたいんだけど、どのルートがあって、何時何分発、北口なのか南口なのかとか、観光客、そこまで聞きたいと思ってると思うんですけど、そのぐらいの学習能力はあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

観光客からの問合せが多いもの、要はAIさくらの画面上で解決せずに、インターフォンで直接コールすると協会につながるようになってまして、協会の職員が対応するんですけども、そういった部分については反映させているというふうにはお聞きしております。

ただ、今実際、田原議員が体験されたお話ですので、こういった案件があるので、アップデート対応は、観光協会のマーケティング事業部のほうでできるというふうにお聞きしておりますので、対策を講じるようにしたいと思います。

AIということですので、学習機能が当然ございます。そんな中で、質問を、単純にインプットしている情報をお知らせするだけではなくて、質問を学習して、相手に逆に提案するという、例えば今のお話ですと、押上海岸もあります、こちらにもこういうのがありますとかというのを提案できるようになるというふうに、AIですので認識しておりますので、もう少し、まだまだ伸び代があるもんだというふうに期待はしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

同じように食事をできるところがありますかって、今度、音声で聞くと、例えば糸魚川の場合、2時を過ぎると大体ラストオーダー終わっているってことが多いですよね。でも、まずA I さくらさんが紹介するのは、何とか駅の周りではって感じで説明するんだけど、いや、ラストオーダー終わってますよねとか、今日、火曜日で、そこ定休日じゃありませんかみたいなのところも聞きます。やっぱり365日24時間すごく対応していただいて、働き者だというのは私は分かっています。

ただですね、やはり観光客が欲しい情報というのは、今御飯が食べに行ける場所とか、例えば私、歩きなんだけど、そんな遠いところ紹介されたってタクシー捕まらないし、バスもないし、行けないじゃんというんじゃないかなと思うんですよ。なので、ぜひともね、その辺は最新情報を入れるなり、その時間とか曜日だとか、一番聞かなきゃいけないのは、お客様、お車ですか、それとも電車で来られましたかという、最初の質問がないんですよ、さくらさん。これ人間であれば、まず、お車ですかって聞いて、お車だった場合、北口に止めてますか、南口に止めてますかで案内できるところは若干違ってくると思います。ぜひその辺もお願いします。

次に、一番聞かれる飲食店とかの情報が多いってことは、インターネット上に糸魚川のマップが出てこないのが問題だと思ってます。糸魚川の観光案内所には、このようにすごく分かりやすい北口の飲食店マップがございます。これが、観光協会のホームページにPDFとして表示されれば、歩ける範囲であるんだとか、このお店がいっぱいだった場合、今度ここに行けばいいんだというふうな距離感覚が分かります。

ただ、どうしてもA I さくらさんだと、住所表記だったりとか、QRコードで、さらにお知らせくださいという手間がかかってくるので、まずこのマップを観光協会のホームページなりでアップできることはできないんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

今お持ちの日本海口まちあるきマップとアルプス口マップという2種類がございまして、私もご指摘のとおり、内容はかなり充実したものがあるなと思っております。見た目は派手ではないんですけども、中身は充足しているかなと。協会のほうに確認しておりますが、技術的には当然可能でありますし、掲載する情報が、観光協会に加盟の有無という部分が少し引っかかっているようなこともお聞きしておりますので、ちょっと調整をさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

ぜひですね、私、新潟市古町のほうのマップを調べると、新潟市の観光全体的な距離感覚、新潟県庁がここにあって、大体、古町がこの辺にあるというマップと、古町の何丁目って、古町5、6、

古町7というふうになってるマップで、ランチマップとかいうふうに分かりやすいのがあります。ぜひそれを参考にさせていただいて、ぱっと観光客が見たときに、どちらの方面で、どこには何があるかというのを表示していただければと思います。

続きまして、先ほどヒスイ王国館のほうの観光案内所は、理事会で決めて、閉鎖するということなんですが、実際そこで観光案内されているガイドの方とか、その方たちにちゃんとお話を聞いた上で、納得はされてるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

案内所の閉鎖につきましては、本を正しますと新幹線開業でアルプス口に観光協会の本部をつかって、あそこで案内を集約するという時点からあったものというふうに捉えておりますが、実際には2つ併用のまま動いてきて、さらに自由通路にも1つボックスをつくったという経緯がございます。令和6年度に協会の能生、糸魚川、青海の3支部を協会としては統合しまして、今回は糸魚川駅の案内所を統合、充実させるという方向であるというふうに捉えております。組織をスリム化して効率化を図りたいという狙いでありますので、自主自立した観光協会が取り組むための協会の決定は、尊重したいというふうに評価しております。

ご指摘の人員につきましては、実際には人数が減る計算でお聞きしておりますし、そちらについて、職員には当然お話はされているはずで。

ただ、このタイミングで職員の個人のご事情でお辞めになるという方がいるというふうにはお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

働いてる方って、やっぱり現場を一番見られてる方が職を失うとか、例えば私たちもずっとヒスイ王国館、もともとあったのがヒスイ王国館のほうなので、やっぱりその知名度といい、そこで働いてた方とかすれば、プライドもあると思うので、ぜひその方たちの、ベテランの方たちが、プライドを持って働き続けたりとか、観光に携わっていただけるようにしていただければと思います。

一番、私、懸念しているのは、この事務所になったときに、私たち事務所で案内所じゃないので、案内しませんという態度だと一番困るかなと思ってます。今、お昼休みに伺ったら、お昼休みなのでカーテン閉めてるんですよ。何かすごく拒絶されてるような気分になっちゃうんですね。私、労働基準法で言えば、確にお昼休みはお昼休みなので、電話対応とかの待ち時間も勤務時間であるから、それはしっかりしたほうがいいとは思ってますけど、市民の方からは、観光に携わってるのに12時から1時って観光客絶対来ないわけじゃないよねという意見が大半です。ぜひとも、交代で休憩を取るなり、あとうろうろしたりとかきょろきょろしてる方に何かお探しですか、何かお困りですかって声をかけるという体制は取れるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

昼休みの休憩時間について、ちょっと私把握しておりませんで、申し訳ございません。当然、観光案内所として営業時間が決められておりますので、その間は、観光案内所のほうは営業時間ですし、今後、日本海口がなくなった際に、マーケティング事業部の執務室といいますか事務所になります。これまで、もし日本海口の案内所をご利用になった方で、リピートされた方がもう一回寄った場合には、そこをまず訪ねると思うんです、アナウンス等はかなり丁寧になりたいと思いますけれども。その際に、ここはもう案内所じゃないんだよということがないように丁寧なアナウンスは必要だと思っておりますし、また、ご指摘のように案内所のみならず、例えばヒスイ王国館の1階のお土産物売場、あそこは観光物産センターと称されておりますので、当然そういったテナントさんが、率先してお客様に必要な事項をアナウンスできるような体制を取れるように要請はしていきたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

ちょっと予算面についてお聞きします。

令和5年度は、観光協会補助金等観光案内所運営費助成金という形で出てます。令和6年は、案内所補助金ではなくて、一本化にされています。これ、一本化にされた理由と、令和5年と令和6年の予算の変化についてを確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

予算のほうは大きく変わってないはずでございます。ちょっとお待ちいただいてよろしいですか。

観光協会には、委託料で出していたときから補助金に変えたというのが、令和4年度から5年度への大きな転換点だったんですけれども、それ以降は、基本的には同じ額を支給しております。プラス市のほうの職員に2人分の人件費を見ておりますので、トータルして、今年度で申し上げますと6,618万円プラス職員人件費2人分という形になります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

よく糸魚川市の観光課と観光協会というのは別物だからって、今までずっと言われてたんですけど、今おっしゃったみたいに、今、市の職員も観光協会のほうに行ってるじゃないですか、やっぱり糸魚川市が予算づけして、こういうふうな糸魚川を売っていききたいという事業と、やっぱりその窓口になる観光協会、そしてそれを実行するふうなものというのは両車輪だと思いますので、ぜ

ひとも有効な予算の使い方にしていいただければと思います。

ではですね、観光についてはこの辺にして、1個だけお願いがあります。1個だけというか2個、3個もあるんですけど、まず、糸魚川市内で写真映えスポットというのが、よくないって言われます。どこで写真撮るんだろうって。私が一番観光客で見るのが、顔出し看板、ブラック番長と糸魚川駅にある顔出し看板、それが小さいお子さんが顔出しができないぐらいの位置にあって、親御さんが持ち上げてやっと顔出してるんですよ。まず、踏み台を出していただけないか、お願いできませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

早速検討させていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

もう一つですね、これ佐渡島の最近一番映えるって言われてる栈橋があるスポット、SADOってあります。これ、ちなみに湯沢町は、湯沢駅の新幹線のところにYUZAWAがあって、新潟駅は、新潟駅のロータリーにございます。この糸魚川バージョン、作られる予定はございませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

私、4月から観光の課長になりましたけれども、それまでにこういったものがあつたらいいなというものは私も思っておりました。どういったものが、例えばどこでもドアですとか、ハートですとかいろいろありますけれども、糸魚川ならではで、また、ご指摘のとおり、どこに置くのが一番効果的かという部分も含めて検討させていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

瀬戸大橋とかの辺りは、スマートフォンとかカメラを置く台までわざわざ設置されていて、今ほどの佐渡のところも、邪魔になんないように透明アクリル板でスマホスタンドがございます。ぜひとも、そのカメラスタンドとセットで設置をお願いいたします。

では、ちょっと観光いろいろ言いたいことがたくさんあるんですが、直接お伝えすることにして、次、防災のほうに移りたいと思います。

なぜ今回、避難所運営について取り上げたかといいますと、私、7月19日に長岡防災アーカイブセンターきおくみらいで開催された、新潟県防災リーダー養成講座に参加し、避難所の現状と過

去の災害で生じた課題や対応策についてお聞きすることができたからです。

この新潟県防災リーダー養成講座は、この日の開催は、たまたま女性限定会場ということもあり、赤十字活動されている方、女性消防団員と、ふだんから地域活動をされている方だけではなく、今まで地域のために何かしたいと思っていてもできなかった方が多く参加されていました。また、長岡開催ということもありまして、2004年10月に発生した新潟県中越地震、2007年7月に発生した新潟県中越沖地震の際に避難所生活を経験された方、当時子供だったのでほとんど記憶がなく、今回参加したという高校生もいました。

避難生活を経験された方は、避難所はホテルでもないし、お客様でもないと話されていて、防災意識が高い方だけが避難所がどのような場所で、どのようにして安心して過ごせるのか分かればいい問題ではないと強く感じました。

では、せっかく災害発生時に携わった命でも、災害関連死の原因は、具体的にどのようなものがあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

災害関連死の原因ということでお答えいたしますと、先ほど議員のご質問の中にもありましたように、肉体的負担が原因で亡くなると、精神的・肉体的負担が原因で亡くなるといったことになりましたが、その原因としては、例えば避難所生活におけるトイレの利用であったり、トイレが過去の大きな災害におきましては使えなくなるといった事情もありまして、トイレを我慢することで体調崩されるという方がおられたり、また、そこにやっぱり当初、食事というところもかなり、同じ食事が繰り返し出されるといったところも避難所運営の中では指摘されておりますので、そういったところであるとか、また、避難所の居住スペースと言われるところが、本当に体育館の中で、みんな雑魚寝をするような形であったりということで、それで体調を崩されたりといったところが原因になろうかというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

今トイレが使えなくなる問題が出てきたんですが、まさに人がいっぱいいる体育館の中でトイレの距離があるので、特に高齢者、人のかき分けたりとか、ちょっとすいませんと言ってトイレに行くのに気を遣うとか。あと、やっぱりトイレが汚れてたりとか臭いの問題で、トイレにあまり行きたくないと言って、食べたり飲んだりを我慢して、脱水状態を起さる方がいらっしやるとお聞きしています。私、避難所マニュアルとか避難所運営について調べると、高齢者の方とかトイレに近い方は、できるだけトイレの近い場所とかいうような配慮が必要とは書いてあるんですが、このことを市民一人一人が知らないとか、じゃ、年配の方はこちらのほうにどうぞとか言わないと思うんですね。基本的に避難所に私たち行ったら、端っこに端っこに、角に角にって私たち絶対行きたがると思う

んですね。でもそこも配慮が必要なんだよという、まず勉強が必要だと思うんですが、どのようにそれを周知していきますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

お答えいたします。

私、この部署に4月に参りましたけれども、その後、地域へ出前講座等で出かけた際に、一緒に市民の方々と避難所ゲームなるものをやらせていただきました。その際に、やはりどういうところ、受付を避難所に来られた方々が受付をして、そういう方々がどこに配置といいますか、避難所にスペースを取っていただくのいいかというところも併せてやるゲームになっておりました。例えばそういうことを今後、出前講座等でやっていけばいいのかなというふうには思っております。

また、避難所設営についての研修等もこれまでも行っておりますけれども、まず、市民の皆様とそういった避難所運営、避難所についての情報の共有などを図りながら、皆さんが健康的に過ごしていただける避難所運営、できるように努めていきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

あとは避難所のスペース問題です。

以前の避難所というのは、避難所に行かないと食料がもらえない。避難所にいる方に対して食料だとか救援物資を分けるという感覚だったんですが、今は在宅避難、例えば垂直避難も含めて、避難所には行かないという避難の仕方というのも浸透してきてます。

糸魚川市の考え方として、避難所にいる人だけに食料を分ける、物資を与えるという考えではないということだけ、まず確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

避難所に食料を取りに来られた方がいた場合ということであれば、お渡しする形になろうかと思えます。

ただ、私どもで市民の皆様をお願いをしていきたいのは、これから災害に際して3日分の備蓄をお願いしたいとか、それぞれのご家庭でも個人としての食料の備蓄であったり、携帯用トイレの備蓄であったりをお願いしたいといったところをまずはお願いしていきたいなというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

この問題、防災リーダー養成講座の最初の頃にあった質問なんです。皆さん避難所にいるんだけど、避難所以外の自宅避難されてる方が避難所に来たときに食料を分け与えますかって言ったら、半々ぐらいで意見が分かれたりするんですね。いや、困ってる人に分け与えるのが当たり前ってことと、逆に、避難所でも数が足りないんだから、把握できてない人数まで与えたら足りなくなるんじゃないかって、どっちも正しい意見だとは思ったんですが、やはり困ったときはお互いさまってまず精神が必要だと思ってます。

次にですね、この子供を含めての防災教育についてお聞きします。

根知小学校、木浦小学校防災キャンプというのを地域の方と行ってたんですが、木浦小学校は、能生小学校に今、行かれてますし、根知小学校も、来年度から大野に通うことになっています。根知の方から、そういった大野小学校に行っても、防災キャンプだとかいいような取組は続けてほしいといったご意見いただいたんですが、まず、防災キャンプの今取り組んでいる学校、また、これからの取組についてお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

申し訳ございませんが、防災キャンプという取組につきまして、各小学校で実施している分については、私のほうで今情報を持っておりませんのでお答えできません。以前に、防災チャレンジ教育プランといった形で、根知小学校で取り組んでいて、その際に地域の方々と一緒に避難行動を行ったりする中で、子供たちが災害について考えるといった取組をしていたといったところはあったというふうには記憶しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

どうしてもこの前の8月30日に実施された防災訓練は、やはり土曜日開催、昼間開催で、毎回皆さんおっしゃるのが、災害、土日の朝8時に発生するわけじゃないよねというのが大きな課題です。私たち一番近い小学校とか公民館なりに行くんですけど、そこには、ふだんだったら子供たちがいるはずなんです。

教育長にお聞きします。

例えば学習発表会とかスポーツフェスティバルのように、土日に子供たちもいて、そこには必ず大体自治会長さんとか公民館長さんとか、地域の役員の方も多く来られてると思うんですよ。そのときに合わせて、午前中は学校行事なんだけど、午後から、例えばそういう避難訓練を行ってみるとか、体育館で子供も地域の方もいたときに、どのように配置したらいいんだろうってみんなで考えましょうということは取り組みできないものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

 蘆本教育長。 〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

 お答えいたします。

 1つのこれからの防災教育の在り方の提言だというふうに、私は受け止めさせてもらいました。今までは学校単位での防災キャンプというのが、小学校も中学校もちょっとずつ広がってきています。地域を巻き込んだというような部分のところが、次のステップに私は続くんじゃないかなと思います。これは、学校の1つの行事、それから地域の行事とドッキングしてという形で、地域ぐるみでの防災教育、訓練というような形になりますので、ここら辺りは学校側と地域との、いろいろミーティングを重ねていく中で、それは実現可能な取組だと私は思っています。

 以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

 田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

 先ほどの中村次長のお話にあった避難所ゲームという形であれば、子供たちは楽しみながら学べる機会も増えていくと思います。

 やはり誰かが何かをやってくれるんじゃないくて自ら考えるだとか、例えば一度にわあっと避難所に入ってしまったんだけど、では通路を作りますといったときに、防災養成リーダー講座では、1回皆さん、床を掃除するために荷物をまとめてくださって動かすそうなんです。1回皆さんわあっと入ってしまうので、いや、皆さんわあって避難所に駆けつけてるのに、まだ入らないでください、通路を作りますというのはちょっと言いにくいので、一旦雨とか降ってると入っていただくんだけど、その後、掃除をするとか換気をするという名目で、通路を作ったりとか場所の移動をお願いするそうなんです。ぜひともそういった経験とかを積んでいただきたいと思います。

 この災害ボトルについて、防災グッズを詰めたボトルについて紹介したいと思います。

 これ、2024年の消防団フェスタで、私手に入れたものです。今のトレンドとして、防災リュックを持ち歩くというのは大変なんだけど、このボトル型のものにマスクだとかウェットティッシュ、それから乾電池、懐中電灯、アルミシート、防寒具、防寒になるものが入ってます。この中身を詰めるのは皆さん自由、あめを入れたりとか、そういうものを入れる方もいると思うんですが、このボトルのいいところは、例えば雨が降ってても、中に入れてる紙とかがぬれないとか、この容器自体が水をくむとか、自分のところに飲料水を置くというグッズになるというものです。

 これはですね、そのときアナウンサーで防災士の吉田理彩さんが、私はこういうものを通勤かばんの中に入れて持ち歩いていますというふうにご紹介されてたんですよ。なので、私はとても便利だなと思いました。

 このようなことをですね、このグッズを売るのが仕事じゃなくて、こういう方法もあるんだってこと、それから、この前の8月30日の避難訓練で高齢者の方は、つえもついでるし、もうリュックなんて重たくて持てないから、斜めがけかばんに最低限のを持ってこられるんですね。そのとき

にこういうやり方あるよということを知らなきゃいけないのかなと思っています。

そういった、せっかく皆さんが集まったときに、誰々さんはどんなものを持ってきましたかとか、逆に若い人はいっぱいこうね、ソーラーパネルの私は乾電池とか持ってきましたけど、持ってきましたというのは具体的にさせていただきたいんですけど、そういったような呼びかけとか提案とかはされてるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

議員ご指摘のように、具体的にその防災グッズを詰めたボトルについてを、例えば皆さんで確認しましょうとかというところではないですけれども、例えば今回の避難訓練の際にも、各地区において自主的に避難をした後、非常持ち出し袋の確認であったりというののもちょっと重点項目といいますか、確認項目には入れさせていただいておりました。

ご指摘の部分は、非常持ち出しと別に、常日頃から持ち歩ける携帯できるものという意味かと思っていますので、また機会を捉えて、PRはしていきたいというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

8月30日の防災訓練当日、朝から猛暑で、私たち西海小学校に集まりましたけど、暑過ぎて、おられんわって。もしここ避難所になったら、ここで生活するのはあり得ないというか、もう無理だろうって話がよく出ました。高齢者の方は、体育館に来ることを考えれば、家にいたほうがいいんじゃないかって。

ちなみに、このスポットクーラー、中学校には配備されましたが、指定避難所、小学校とか、あと県立高校もあると思うんですが、今後の整備予定とかはあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

避難所ということで防災担当のほうでお答えをさせていただきますが、今回スポットクーラーにつきましては、各中学校に2台、国の補助もあって入れさせていただいております。市長答弁にもありましたように、今回の防災訓練において、暑さ、寒さといった気象条件への対策が課題であるといったこともあります。今回導入した移動式エアコンの様子も聞きながら、財政的な課題もございまして、検討はしていきたいというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

避難所運営に職員がそれぞれ配置されると思うんですが、糸魚川市の場合、指定避難所には大体何人ぐらいの職員を配置する予定になってますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

市の職員は、3名ということで申合せをしとったんですが、令和2年ですか、コロナ禍の場合にどうしても人数が要ということで6人ということなんですが、今コロナ禍も収まっておりますので、その辺は、また庁内のほうで何人配置するか、どういうふうに配置するかといったところは検討するところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

では、指定避難所において、行政職員の重要な役目は何でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

まず、市の職員につきましては、すぐには避難所には行けないといったところで、地区の皆さんから運営していただくんですが、市の職員が避難所へ行った際には、そういった地区で運営していただける方を指示という言い方はちょっと語弊があるかもしれませんが、役割分担を明確にさせていただく。また、ある程度の時期になったら、今度は市の職員はほかのほうにシフトするといったようなところで段階を追って、市の職員には役割はあるというふうに捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原洋子議員。

○10番（田原洋子君）

過去の災害では、苦情や要望への対応に追われて、本来の必要な支援の情報を災害本部に伝え、支援が届けるようにすることに集中できなかったという反省があったそうです。

私も防災リーダーのこの認定書を頂きました。ぜひともですね、防災リーダー、防災士、それから市の職員、市民、皆さんが一丸となって避難所運営ができるようにしていきたいと思います。

以上で終わります。

○議長（古畑浩一君）